

平成30年6月8日(金)

永平寺門前の再構築プロジェクト やっています

福井土木事務所 河川砂防課 河川第一G
重矢 智美

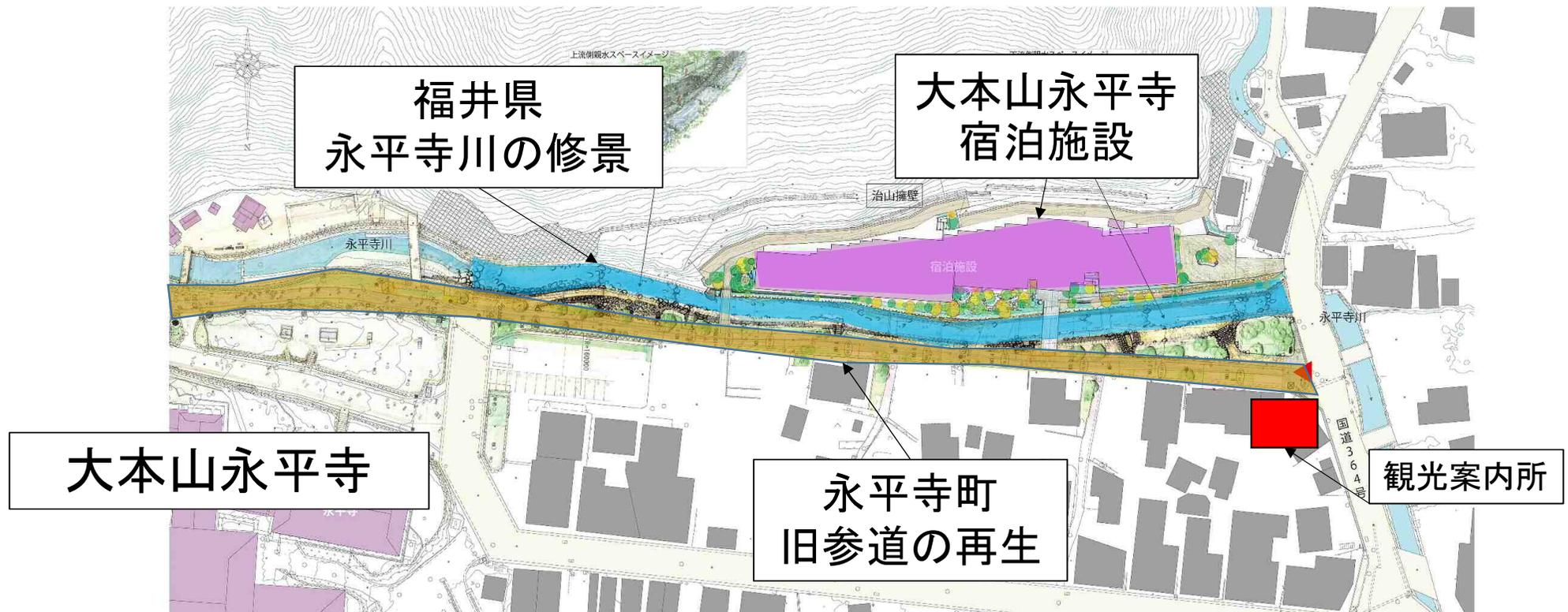
1.永平寺門前の再構築プロジェクトの基本計画



永平寺門前の歴史・風土に裏付けられた旧参道を、永平寺川と一体化した門前の骨格となる、古くて新しい参道空間に再生する。



2.永平寺門前の再構築プロジェクトの概要



北陸新幹線金沢開業、舞鶴若狭自動車道の全線開通、中部縦貫自動車道の福井北IC-大野間の開通などの高速交通ネットワークの整備進展、平成30年の福井しあわせ元気国体、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックの開催など、国内外から誘客できる機会をとらえ、本県の観光客の集客に結びつけていくのが目標です。

3. 大本山永平寺 宿泊施設整備

外国からの参拝にも対応できる宿泊施設の整備が目的で、このプロジェクトの核となる部分です。

「修行道場である永平寺の門前に建設されます。永平寺の敷地内から切り出した「永平寺杉」を使用し、全18室の和洋室、男女別の大浴場を備え、レストランでは永平寺が監修する精進料理も提供いたします。「旅館と宿坊の中間に位置する施設」をコンセプトとし、永平寺での坐禅など体験を通じて、禅の心に触れることができる宿泊施設です。



イメージ図

4.福井県 永平寺川の修景



宿泊施設と旧参道の間を流れる永平寺川の修景整備を行うもので、福井県福井土木事務所河川砂防課が整備主体となりました。護岸の石積改修、親水空間の整備、橋梁の架け替え等を行うもので、平成30年6月に全て完成予定です。
事業延長：L=210m、橋梁架替：2橋

4.福井県 永平寺川の修景



4.福井県 永平寺川の修景

面を揃えている石積



面をデコボコさせている石積



4.福井県 永平寺川の修景



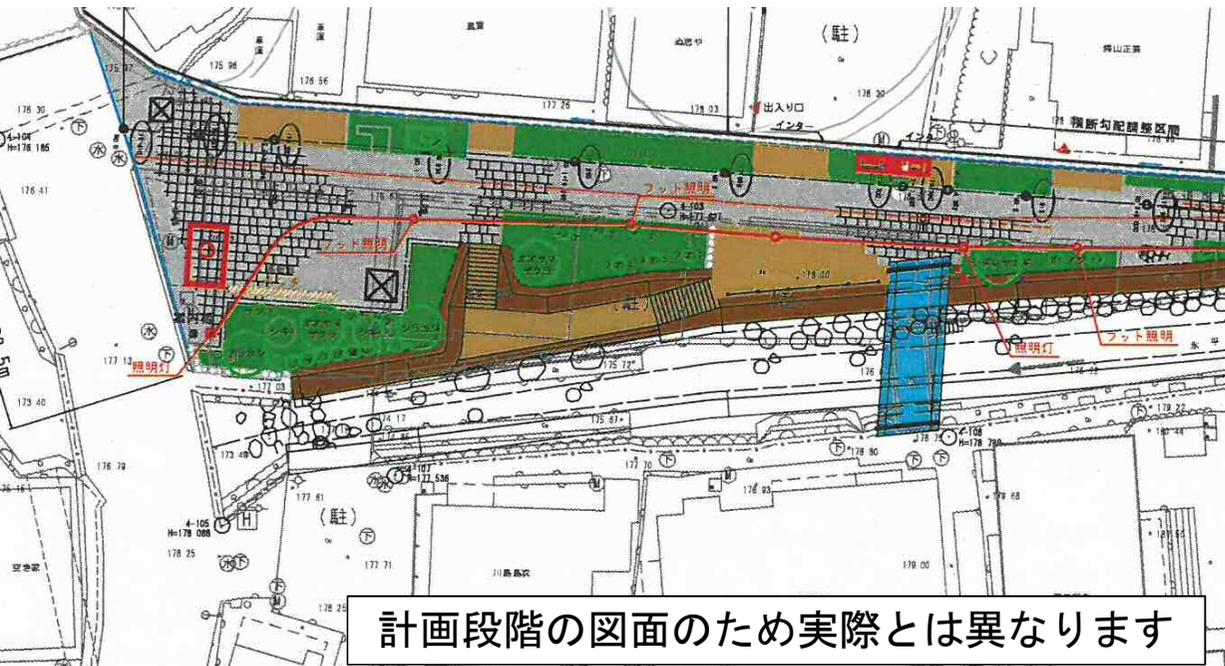
橋梁では、素材感を大切にするため、高覧や桁隠しに木材を使用し、永平寺の景観に合うものにしました。

5.永平寺町 旧参道の再生



町道志比2号線を1600年代の古地図に基づく旧参道として再生する事業で、永平寺町が整備主体となりました。無電柱化および参道の石畳化、緑化を行うもので、平成30年8月に完成予定です。

5.永平寺町 旧参道の再生



旧参道と永平寺川の周囲に
植栽して、道と川とが一体
となるように整備します。

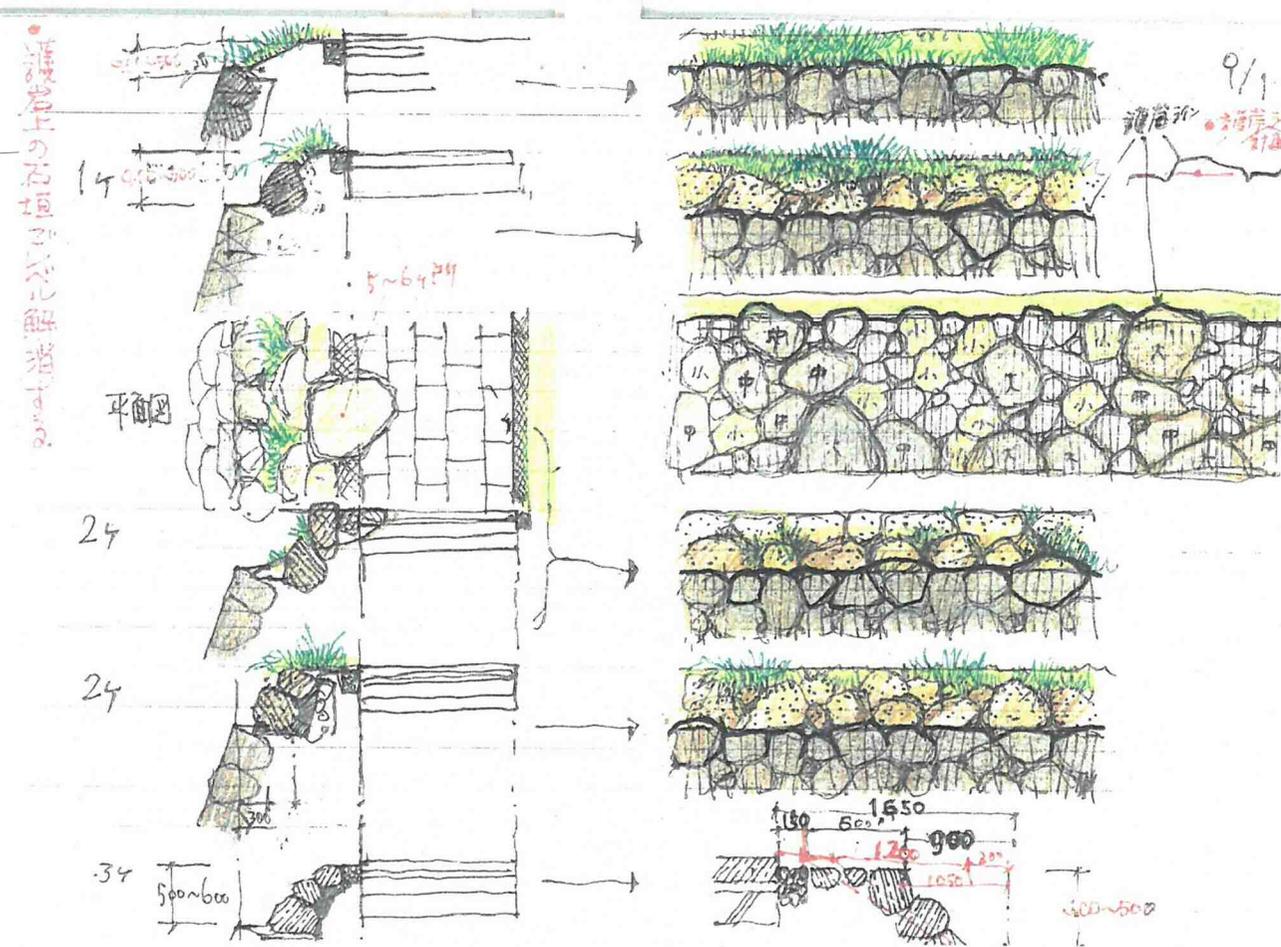
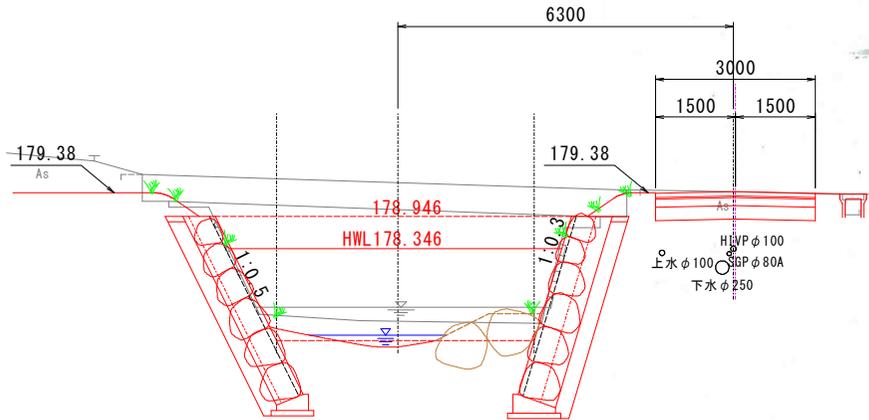
6. 景観整備の統一



景観アドバイザーとして、福井県立大学長進士先生から提言をいただき、外構を森ビル株式会社に委託をすることで、具体的なイメージを、大本山永平寺・福井県・永平寺町とで共有することができ、統一された景観を目指すことができました。

計画段階の図面のため実際とは異なります

6. 景観整備の統一



設計図面だけでは表現できない自然的な風景づくりを、イメージ図と現場で直接指導してもらいました。
 多数の業者が作業していても、安定した出来形が完成していききました。

7.まとめ



永平寺門前地域猫

この永平寺門前の再構築プロジェクトに携わることができて、景観重視の工事という、安全とコスト縮減を主とする公共工事ではなかなかできないことを、自由にさせていただきました。また、大本山永平寺や森ビル(株)など民間事業と何度も協議を行い協力して進めていくのは、貴重な経験になりました。ここまで進められたのも関係機関をはじめ、施工業者、事務所の方々のおかげだと思っております。

ご清聴ありがとうございました

